

# ジャーナリズム史Ⅱ 2011

## 第8回

昭和30(1955-64)年代  
戦後マス・メディアの発達  
戦後ジャーナリズム事件史[1]

# 1. マス・メディア時代の到来

---

- 経済復興、高度経済成長時代へ
  - **大量生産-大量流通-大量消費**
- 安定化、上昇志向
- 技術革新 社会的インフラ
- 受け手の成長
- **大衆文化状況**の出現
  - テレビ時代/全集、文庫本、雑誌創刊

- 
- 識字率の増加？ **メディア・リテラシー×デジタル・ディバイド**
  - 教育の発達？ **大衆文化＝要約の時代**
  - 多種多様な図書館出現：**internet**
  - メディアの多様化：マルチメディア、多メディア、多チャンネル
  - 19世紀末からのグローバリズムの進展；
  - コンピュータ社会の進展→デジタルコンテンツ
  - 経済学者のロストウがいう、「離陸の時期」なのか
    - 伝統的社会 離陸の先行条件 **離陸** 成熟への前進、高度大衆消費時代**[大量情報消費社会]**
    - 豊かさ 消費者の力 大量生産 大量流通 大量消費
  - 5つのマス mass production, mass transportation, mass communication, mass sell, mass consumption
  - マス・メディア→メディア？

## 2. 新聞の転換期 昭和30年代

---

- 報道・製作・経営における質的变化
  - 植字工程⇒漢テレ、モノタイプ、ファクシミリ
- 社会派キャンペーンの展開
- 1960年 皇太子妃報道
  - ミッチーブーム：報道協定
  - 出版社系週刊誌の創刊/
- 1960年 安保「共同宣言」/社会党委員長刺殺
- 誘拐報道
- 1961年 嶋中事件(中央公論社)

### 3.放送メディアの台頭

---

- 1953:NHK 民間放送の開始
- 皇太子ご成婚:一大メディアイベント
  - 出版社系週刊誌、女性誌、少年マンガ誌の登場
- 1961:「TVは一望の荒野か」:ミノーFCC委員長
- 一億総白痴化:大宅壮一
- 「テレビに至っては、紙芝居同様、否、紙芝居以下の白痴番組が毎日ずらりと列んでいる。ラジオ、テレビという最も進歩したマスコミ機関によって、『一億総白痴化』運動が展開されていると言って好い」

(『週刊東京』1957年2月2日号)

# 皇太子ご成婚(1959)/ラジオドラマ「君の名は」

---



## TVの登場: 映画、ラジオ、出版メディアはどこへ

---

- 大衆文化: mass culture/popular culture
  - 茶の間から追い出されたラジオ
  - 映画: 大衆娯楽の王座から転落
  - 60年代まで出版花盛り; 高度経済成長の波にのる
    - 出版点数の増加
    - 文庫本、講座本、各種週刊誌
    - 百科事典ブーム、全集ブーム
    - 政治、経済書、経営書ブーム

# ジャーナリズムの変質

---

- ▶ ラジオ・テレビ併存時代始まる
  - ▶ 映画の衰退
  - ▶ 私は貝になりたい(1958)
- ▶ テレビ放送中止事件相次ぐ
  - ▶ メディア総合研究所『放送中止事件50年』(花伝社、2005)
  - ▶ 「ひとりっ子」「南ベトナム海兵大隊戦記」
  - ▶ 北ベトナム報道
  - ▶ テレビの「脱政治化」
- ▶ ジャーナリズム批判



# 岡本愛彦：私は貝になりたい

<http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Theater/8207/kai.htm>

---



Q.

---

- 新・三種の神器？
- 三種の神器：電気洗濯機、電気冷蔵庫、？
  - 1950年代後半
- 新三種の神器：3C
  - 1960年代後半

## 解説：三種の神器(じんき) 皇位の象徴：鏡、剣、玉

---

- デジタル時代の新・三種の神器
  - デジカメ、薄型(プラズマ)テレビ、DVDレコーダー
  - ソニー神話の崩壊？
- 三種の神器：電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒TV
  - 1950年代後半
- 新三種の神器：3C Car, Cooler, Colour TV
  - 1960年代後半

## 淺沼委員長刺殺事件：1960/10/12

---



# 浅沼稻次郎社会党委員長刺殺事件

---

- 1960年10月12日15時5分頃
- 日比谷公会堂で演説中の日本社会党(現社民党)委員長、浅沼稻次郎が刃渡り33センチメートルの短刀(のちに銃剣と判明)を持った17歳の右翼少年に刺された
- 犯人 山口二矢(やまぐちおとや)は少年鑑別所で自殺
- 沢木耕太郎『テロルの決算』(第10回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作品)
- 長尾靖(毎日)は、少年が浅沼にとどめを刺そうとする瞬間を撮影し、日本人初のピューリッツァー賞を受賞

## ピューリッツァー賞 日本人受賞者

---

- 1961年 写真部門:『浅沼社会党委員長の暗殺』長尾靖(毎日新聞)
- 1966年 写真部門:『安全への逃避』沢田教一(UPI通信社)
- 1968年 写真部門:『より良きころの夢』酒井淑夫(UPI通信社)

